

## 1. 収支に係る現状と課題

### (1) 収入面での現状と課題 【自主財源確保】

#### ① 入園料収入の増加

直近の入園者数は増加傾向にありますが、収支目標である公費負担率 50%の達成のためには更なる入園料収入の増加が必須です。今後の国内の人口減少・少子高齢化を見据えると、入園者数の長期的な減少は否めません。その中で、入園者数の増加を図るには、施設リニューアルをはじめとして、イベントやPR・広報の強化等による活性化計画の確実な実施が必要です。また、インバウンド旅行者も一定割合を占めることから、周辺地域との連携等によるインバウンド増加策の実施も重要です。

また、現在の大人の入園料（500 円）は、他園と比較しても安価であり、過年度アンケートの結果も踏まえ、段階的な値上げや有料入園者の対象範囲の拡大についての検討も重要です。

#### ◆入園料の他園比較（平成 28 年 6 月現在）

動物園名	天王寺	上野	東山	よこはま	京都市	王子	福岡市	旭山 (市外)
大人標準料金	500 円	600 円	500 円	800 円	600 円	600 円	600 円	820 円

#### ◆過年度アンケート結果【平成 23 年 11 月 22 日・23 日実施】

＜入園料についてどのように思うか（N=362 人）＞

「概ね妥当」と感じている方が 53%で最も多く、次いで「安い」41%、「高い」6%の順であった。

#### ② 入園料外収入の確保

動物園の魅力向上において、飲食・物販機能は非常に重要な要素のひとつです。現在、本園における園内客単価（飲食・物販）は 88 円にとどまっており、他の公立動物園と比べても大幅に低い状況です。

これは、園内でお客様の購買意欲を喚起する魅力的な物販機能が欠如していることが原因と考えられます。他園比較からは、一般的に入園料と同等額程度の園内客単価が期待できることから、当該機能の強化を通じて入園料外収入を確保し、それを自主財源として活用できる仕組みの検討も必要です。

また、企業との連携（施設協賛、イベントスポンサー、寄付等）や個人サポーターによる寄付を募る仕組みを構築し、積極的な告知展開を図る必要があります

#### ◆園内客単価（飲食・物販）に係る他園比較

公立動物園	客単価	(参考) 民間動物園	客単価	備考
恩賜上野動物園(指定管理)	418円	アドベンチャーワールド	6,500円	入園料・遊具利用料含む
多摩動物園(指定管理)	593円	姫路セントラルパーク	825円	
<b>天王寺動物園(直営)</b>	<b>88円</b>	東武動物園	670円	

※売店・食堂等の売上高／入園者数（平成26年度実績）

#### 積算根拠

恩賜上野動物園...東京動物園協会平成25年度決算書(飲食・物販売店の売上高÷入園者数)

多摩動物園 ...東京動物園協会平成25年度決算書(飲食・物販売店の売上高÷入園者数)

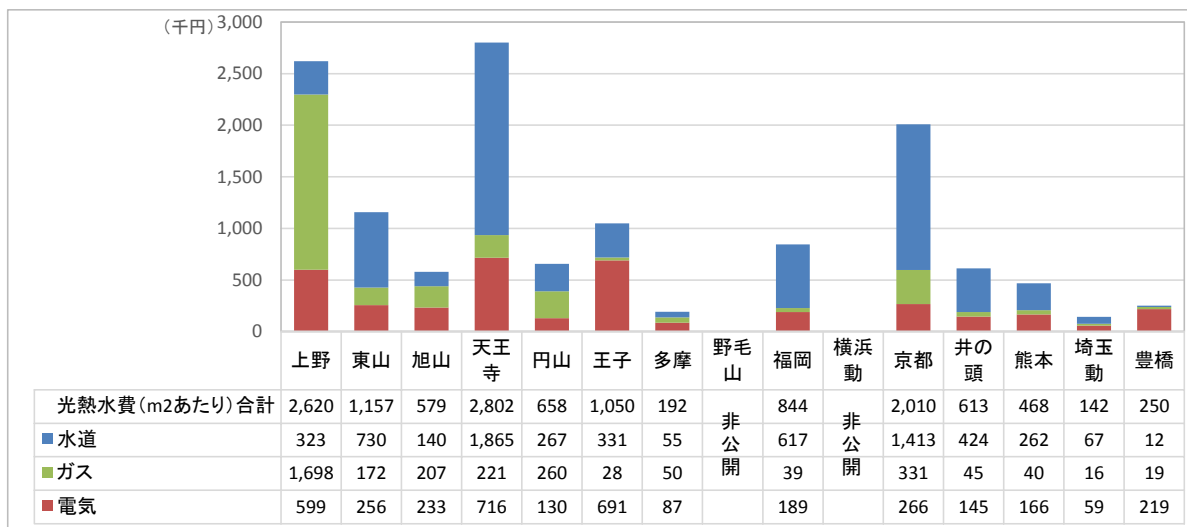
**(2) 支出面での現状と課題 【支出削減】**
**① 人件費（総額）の削減**

現在、人件費の総額は 4.5～5.0 億円程度で推移しています。動物園の職員は 84 名で構成されており、職員の平均年齢は 45 歳（飼育員のみでは 47 歳）となっており、動物園運営の硬直化が懸念されます。職員業務の機能と役割を明確にした上で、望ましい運営形態についての検討も必要です。

**② 現存の施設管理費（主に光熱水費）の削減**

本園の光熱水費は、公立動物園の中で最も高くなっており、それが全体に占める割合も高止まりしています。今後のリニューアル整備によって新たな光熱水費の発生も想定されることから、現存施設の光熱水費の削減を図ることが重要です。

(H29 年度以降の E S C O 事業：爬虫類生態館（アイファー）及びカバ舎等)

**(再掲) 光熱水費の他園比較**


## 2. 計画目標達成のための対応方針（収支改善施策）

### (1) 計画目標

本計画では、収支改善を推進するため、以下の2つの目標を掲げます。

#### <経常収支に係る2つの経営目標>

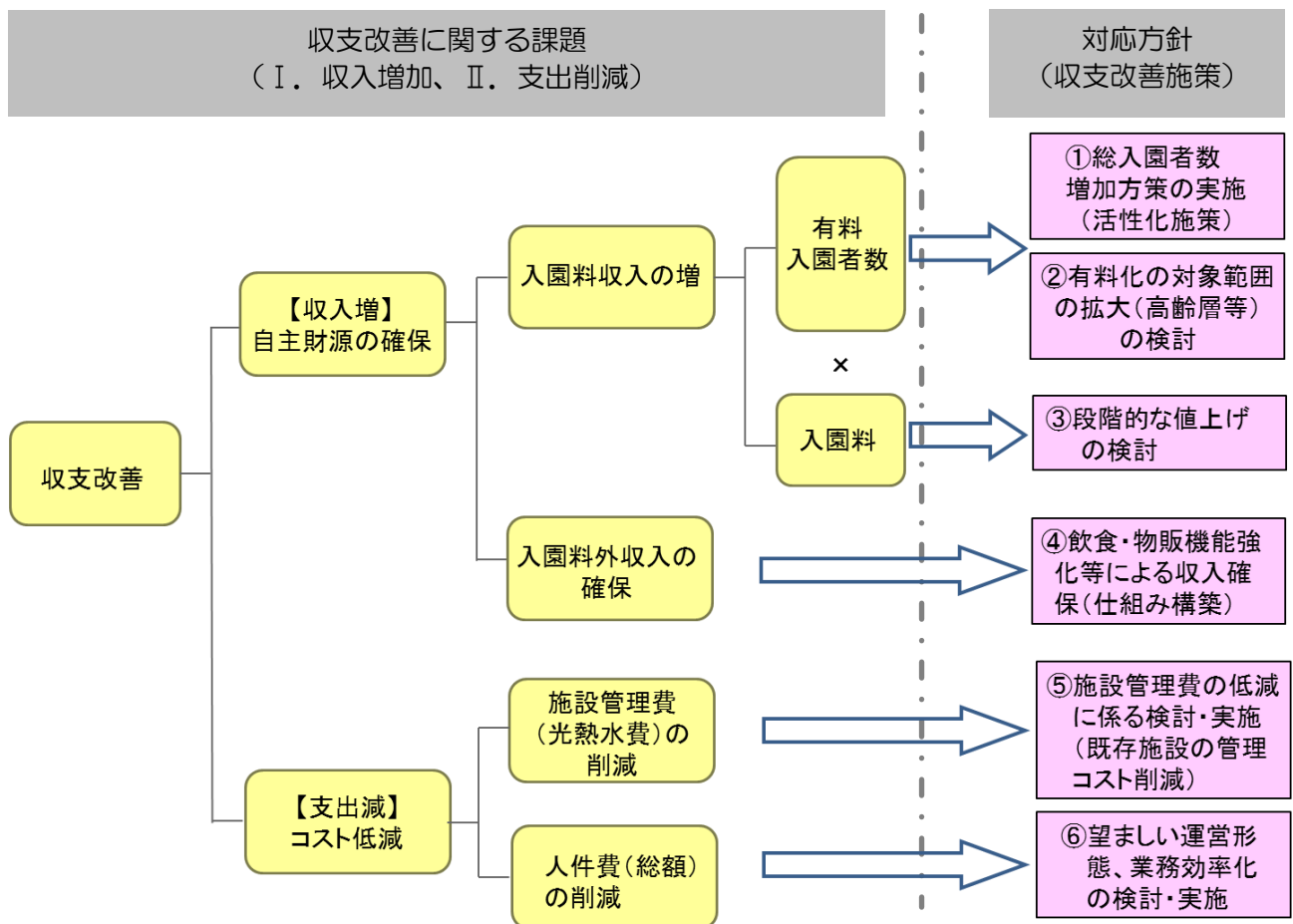
- ① サービス改善の取組みなどによって入園者数 175 万人を達成します。
- ② 運営費公費負担率（経常経費のみ）を 50% に圧縮し、さらに削減を目指します。

### (2) 計画目標達成のための対応方針（収支改善施策）

前述の収支に係る現状課題を踏まえつつ、上記の2つの計画目標を達成するため、Ⅰ．収入増加への対応、Ⅱ．支出削減への対応の両面から、下記の対応方針を掲げます。

Ⅰ．収入増加への対応 ⇒ 下図 対応方針①～④（収入増加施策への展開）

Ⅱ．支出削減への対応 ⇒ 下図 対応方針⑤～⑥（支出削減施策への展開）



### 3. 施設整備にかかる市税負担低減について

施設整備計画において掲げた整備を着実に推進していくためには、『ZOO21計画』が停滞を招いた課題等を踏まえ、動物園自身が様々な努力を行うことによって、市税負担の低減を図っていくことが重要です。

継続的に施設リニューアルを行うことで、リピートされる来園者に対しても新たな魅力の創出・提供を続けることで、また来たいと思っただき、リニューアルと入園者数増の好循環にのせることを目指します。

#### (1) 施設整備費の低減

個々の動物舎等の建設にあたっては、PFIをはじめとする民間活力導入手法の検討や、使用部材のグレード等の精査を鋭意行うことで、施設整備費そのものの低減の可能性を検討していきます。

#### (2) 入園料外収入獲得の取組み

クラウドファンディングや動物舎へのネーミングライツ、ふるさと納税などの寄付など、入園料外収入獲得の取組みを行い、施設整備費にかかる市税負担の縮減を目指します。

## 4. 望ましい組織体制と経営形態

101計画に記載した集客施設としての魅力向上、動物園を維持するための機能向上を着実に実行していくためには、それを実施し維持できる組織体制と経営形態の整備が必要です。

### <組織体制の整備>

現在、出改札、清掃、警備、設備保守以外の業務はほぼ正規職員で運営実施していますが、下記の課題が挙げられ、執行体制の確保が懸念されます。動物園の全ての業務について棚卸しを実施する中で集中と選択を図り、園内組織である管理担当、動物園担当、現業管理体制の垣根を越えた効率的、機能的な業務執行体制の構築を進めた上で、必要な組織体制整備について検討していきます。

(組織体制に係る課題)

- ・動物解説の強化、ハズバンダリートレーニングの充実、植物管理などを実施する時間が確保できない。
- ・新規、拡充すべきイベント実施などで、臨機かつ柔軟な増員対応や勤務時間の変更に対応できない。
- ・強化すべき広報、イベント企画、デザイン戦略、民間企業連携、ボランティア育成などの業務は専門的なノウハウと人的つながりなど経験が必要な業務だが、人事異動により数年で担当が代わり、ノウハウと経験が蓄積されない。

### <動物園に適した経営形態>

現在、動物園の管理運営は、市の直営で実施しており、市の予算、契約制度による業務執行、職員については市の人事制度による雇用、勤務体制となっているため、サービス施設の経営としては、硬直的な運営体制となっています。

これにより、動物確保などで時機を得た業務執行が困難であることや、来園者の声に迅速に対応できないこと、事業連携や入園料での民間的活性化方策提案に対応できないなど、効果的な事業実施、柔軟で効率的な運営などの面で支障があるところです。今後、本計画を実行し、動物園のさらなる活性化を進めていくためには、動物や施設、資金、人材といった限りある経営資源を確保し、効果的に活用できる仕組みの構築が必要です。これらの課題を解決するとともに、人件費などの運営コストの削減にもつながる動物園運営にふさわしい経営形態について検討を進めます。

## Ⅷ 計画推進のために

### 1. 取組実施期間

本計画は、平成 27 年 8 月に策定した「天王寺動物園基本構想」の概念を具体化したものであり、計画内容の実行によって来園者にとって魅力的であるとともに、飼育している動物にとっても健康的で生き活きと生活することのできる動物園を目指すものです。

ここ数年、目の前の地道な改善を行ってきた結果、入園者数が増加傾向を示している現在、この状況を維持・発展させていくためには、本計画の取組内容へのスピーディな着手が必要であり、平成 31 年度までの 4 年間で各取組内容を実現すべく行動を進めることとします。ただし、施設整備に関しては、多額の財源を要するものであり、市の財政状況も踏まえた計画とする必要があるため、平成 48 年度までの 20 年間で順次施設リニューアルを進める長期計画とします。

また、本計画に記載した各取組内容を計画期間内に達成していくための「行動計画（アクションプラン）」を作成し、着実に推進、実行してまいります。

### 2. 弾力的な計画の運用について

本計画は、平成 27 年度時点の経営環境・運営体制をベースに今後のあるべき姿に向けた取組内容をまとめたものですが、実行にあたっては来園者ニーズや社会情勢など動物園を取り巻く状況を見極めつつ、P（計画）－D（実行）－C（評価）－A（改善）サイクルを徹底し、費用対効果等を逐次十分に検証したうえで、柔軟かつ臨機に取組んでまいります。

また、市の財政状況や民間活力の導入などの要因による取組実施期間や手法の変更についても弾力的に対応することとしつつ、動物園の使命・目的を果たせるよう努めてまいります。

### 3. 評価指標とチェック体制

本計画の実行を着実かつより効果的なものとするため、PDCA サイクルの一環として、市民、来園者、有識者などからその進捗状況をチェックしていただき、お客様目線でのご意見や改善提案をお受けできる仕組みを設けます。

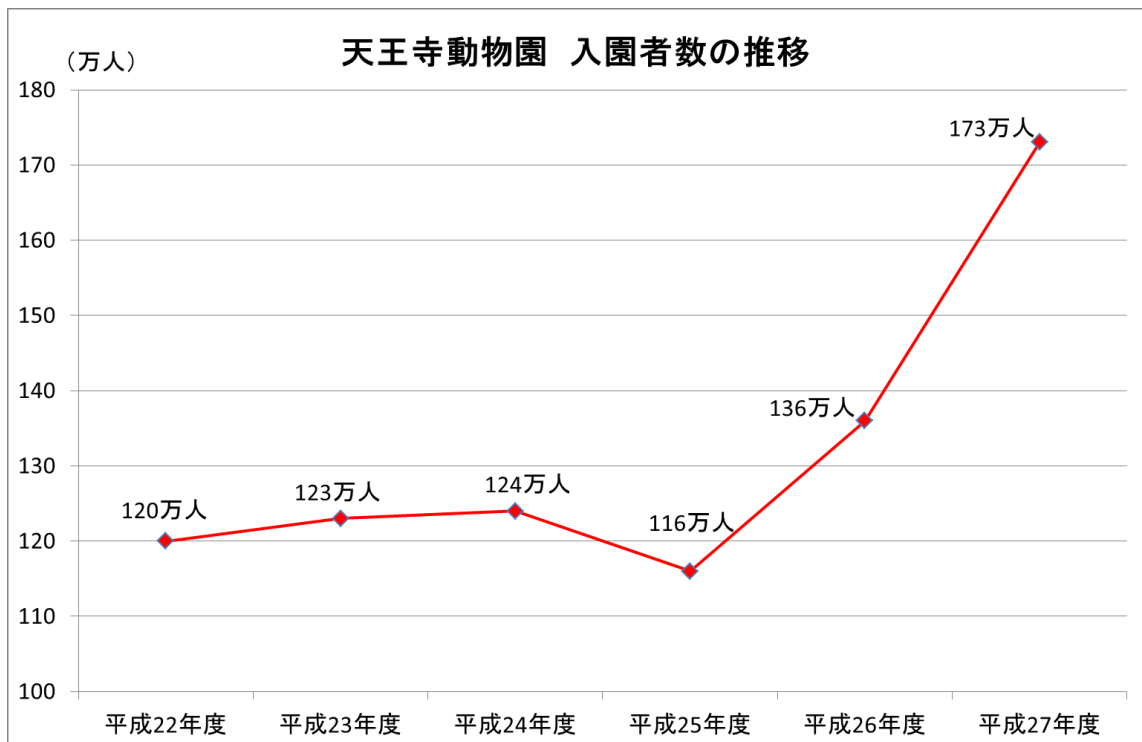
また、動物園の活動に対する来園者の評価を示す指標として、入園者数や入園料収入といった定量的なものだけでなく、来園者アンケートや市民の声など定性的な指標も含めた評価指標を開発し、きめ細かな改善活動に繋げていけるオープンな体制を構築します。

## 参考1 動物園の現況

### 1. 入園者数

#### (1) 入園者数の推移

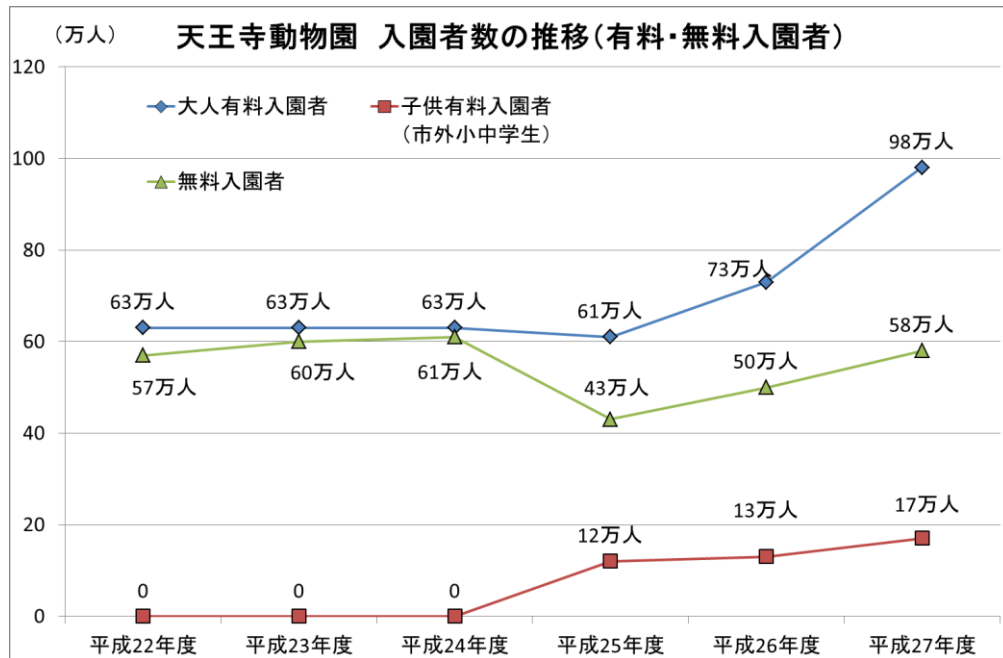
平成22年度から平成25年度までは120万人前後を推移していましたが、平成26年度より「美化、修繕、顧客目線でのサービス改善」など目の前の地道な取り組みを進めていくことで、26年度の入園者は約136万人に増加しました。平成27年度には、前年度に引き続き取り組みのほか、当園が開園してから100周年を迎えたシンボルイヤーであったため、100周年記念事業による様々なイベント効果、8月・10月・3月に行ったナイトZOO、10月に天王寺公園が「てんしば」としてリニューアルオープンした相乗効果、平成26年11月に生まれたホッキョクグマの赤ちゃん「モモ」を平成27年3月より公開を開始したことにより集客効果があり、約173万人という入園者数を記録しました。



#### (2) 全体入園者数における有料入園者数（大人・市外小中学生）と無料入園者数

平成25年度より大阪市外在住の小中学生の入園料を有料化（200円）したことから、無料入園者数の減少が見られましたが、近年のサービス改善などの取り組みにより、大人有料入園者・子ども有料入園者・無料入園者のいずれも増加傾向にあります。

※ 無料入園者：未就学児、大阪市内在住の小中学生、大阪市内在住の65歳以上の方、身体障がい者手帳をお持ちの方など



(3) 公立動物園の入園者数上位 15 園 (平成 27 年度)

平成 27 年度における公立動物園の入園者数は、東京都の恩賜上野動物園が最も多く、397 万人でした。続いて名古屋市・東山動物園の 258 万人となり、当園は 173 万人で、年間入園者数第三位となっています。

順位	施設名称 (設置主体・運営方式)	27 年度 入園者数	26 年度 入園者数	25 年度 入園者数
1	恩賜上野動物園 (東京都・指定管理)	397 万人	369 万人	349 万人
2	東山動物園 (名古屋市・直営)	258 万人	227 万人	223 万人
3	天王寺動物園 (大阪市・直営)	173 万人	136 万人	116 万人
4	旭山動物園 (旭山市・直営)	152 万人	165 万人	165 万人
5	王子動物園 (神戸市・直営)	125 万人	117 万人	110 万人
6	よこはま動物園 (横浜市・指定管理)	122 万人	94 万人	92 万人
7	京都市動物園 (京都市・直営)	121 万人	82 万人	81 万人
8	野毛山動物園 (横浜市・指定管理)	110 万人	101 万人	97 万人
9	多摩動物公園 (東京都・指定管理)	106 万人	104 万人	100 万人
10	円山動物園 (札幌市・直営)	98 万人	132 万人	96 万人
11	福岡市動物園 (福岡市・町営)	93 万人	99 万人	95 万人
12	井の頭自然文化園 (東京都・指定管理)	90 万人	80 万人	73 万人
13	豊橋総合動植物公園 (豊橋市・直営)	77 万人	68 万人	68 万人
14	姫路市立動物園 (姫路市・直営)	76 万人	49 万人	33 万人
15	熊本市動植物園 (熊本市・直営)	75 万人	73 万人	73 万人

※平成 25～27 年度のいずれも日本動物園水族館年報より (ただし、当園は実数)

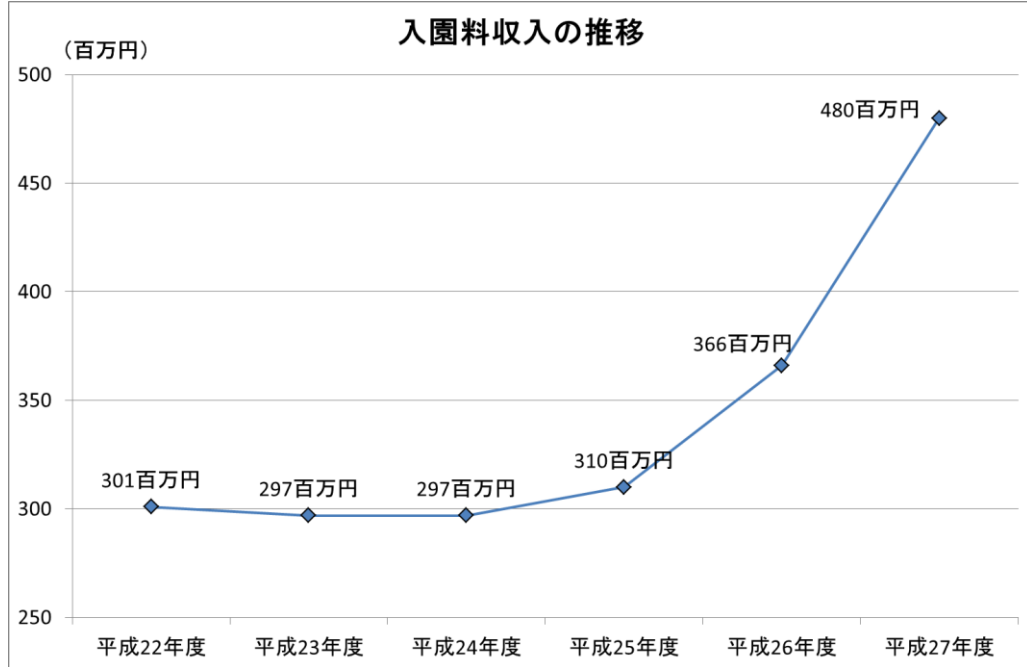


2. 収支

(1) 入園料収入の推移

入園料収入は、平成25年度までは3億円前後を推移していましたが、入園者数の増加に伴い、平成26年度以降は増加傾向にあります。

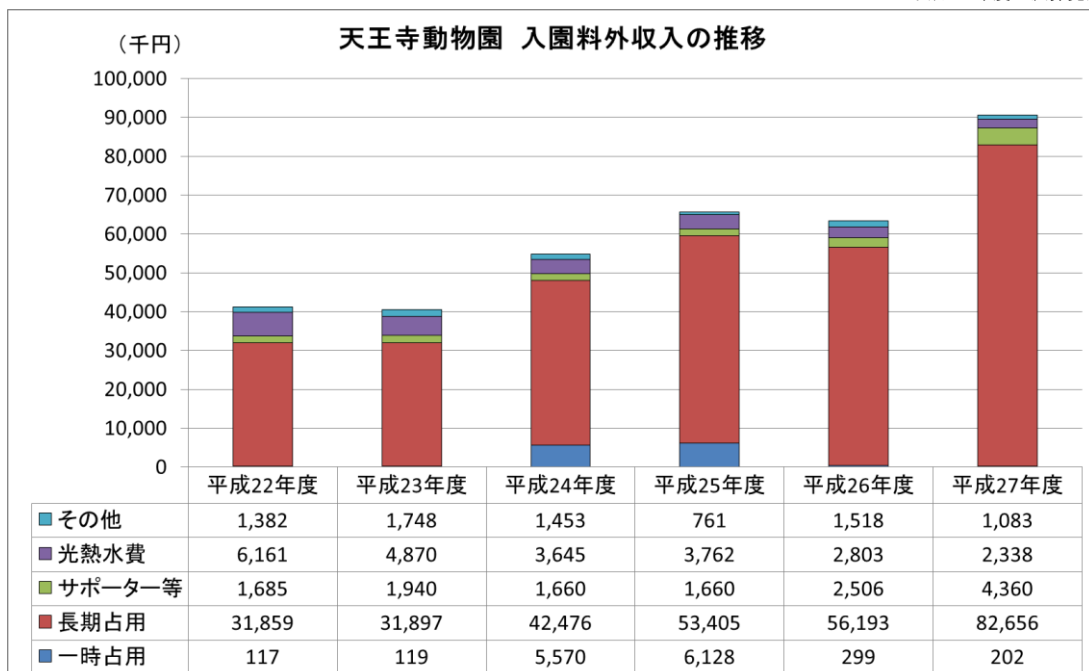
※平成27年度は決算見込



(2) 入園料外収入の推移

天王寺動物園における入園料以外の収入としては、売店・食堂などの建物の管理設置許可収入である「長期占用」、同事業のために使用した電気・ガス・水道料金の戻入の「光熱水費戻入」、工事のための占用や集会などに使用される「一時占用」、当園サポーター制度による収入などがあります。

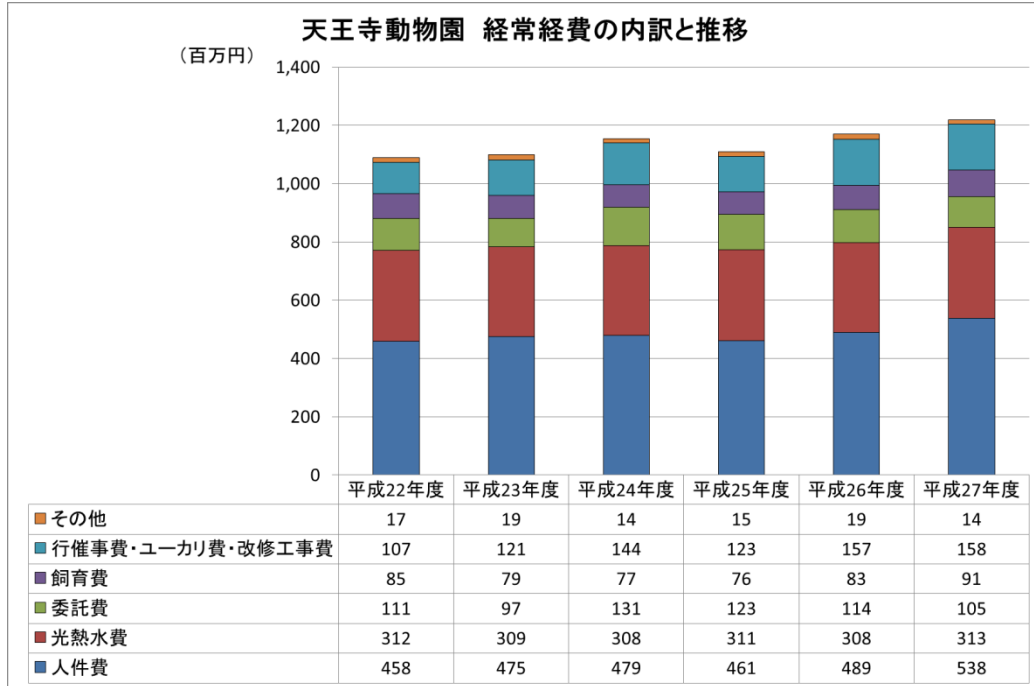
※平成27年度は決算見込



(3) 経常経費の内訳と推移

経常経費全体として、平成22年度より11億円前後を推移しています。これまでさまざまな経費削減策を取ってきたものの、いずれも頭打ち感があります。光熱水費については、ESCO事業を平成29年度より爬虫類生態館(アイファー)及びカバ舎に導入し、削減を図っていく予定です。

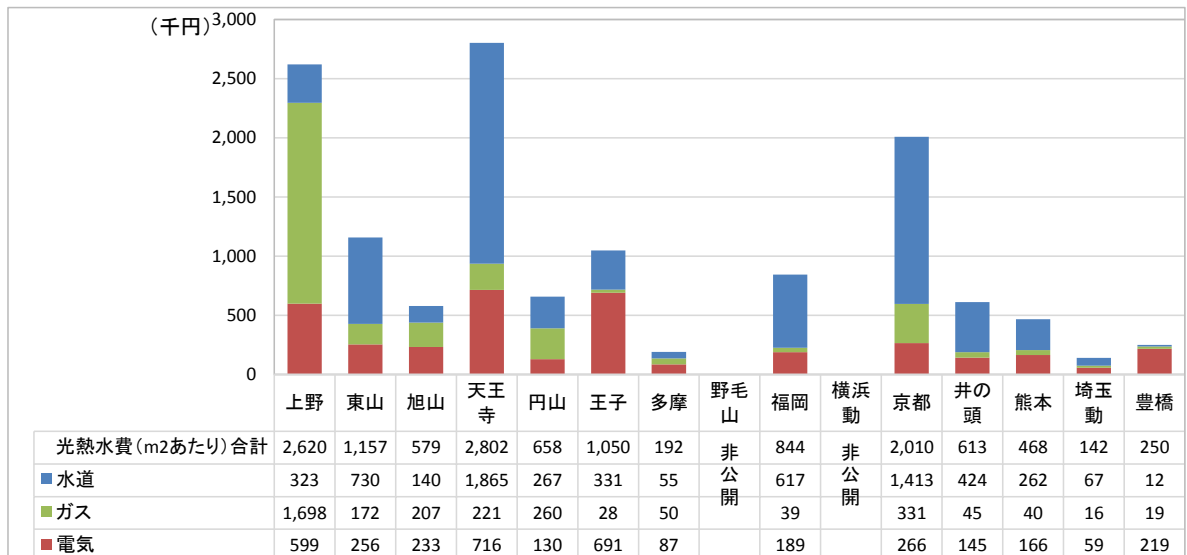
※平成27年度は決算見込



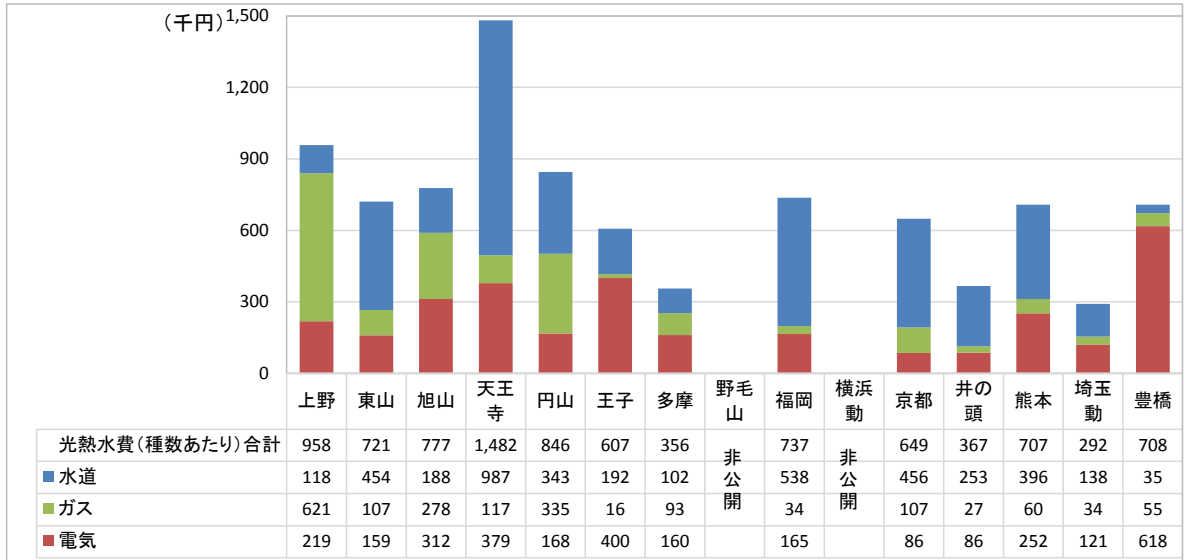
(4) 公立動物園の入園者数上位15園の光熱水費比較(平成26年度)

平成26年度における公立動物園の光熱水費は、以下のグラフのとおりとなっています。各園によって飼育動物の種類や施設・設備が異なること、特に水道料金については自治体毎に単価が大きく異なることから、単純な比較はできませんが、面積あたり及び飼育動物種数あたりで比較すると、当園の光熱水費は顕著に高額となっています。

面積あたりの光熱水費



飼育動物種数あたりの光熱水費



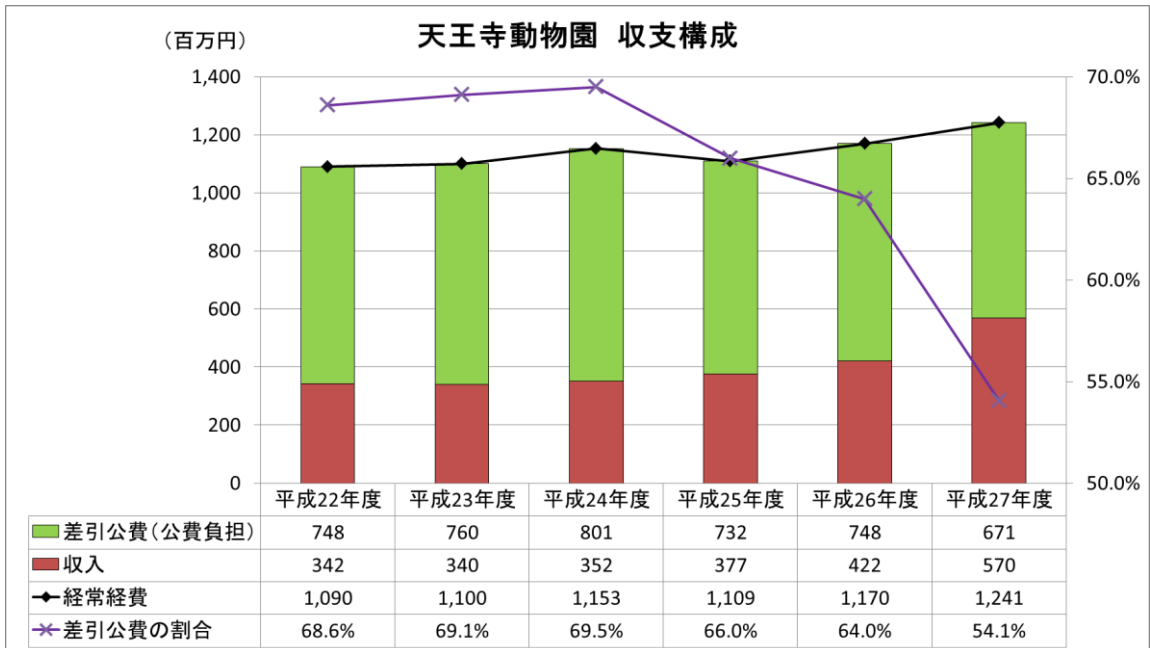
※平成26年度日本動物園水族館年報より

※総面積の単位は千m<sup>2</sup>、費用の単位は千円

3. 公費負担率の推移

経常経費に対する公費負担率は、平成22年度から平成24年度までは7割弱を推移していましたが、入園者数及び入園料収入が増加したことから、平成26年度には64%まで下がっており、平成27年度については54%まで下がる見込みです。

※平成27年度は決算見込



#### 4. 職員構成

##### (1) 職員構成

平成27年度における職員構成は以下のとおり。

職種	人数
動物飼育	35人
動物管理 (うち、獣医)	13人 (9人)
管理運営	20人
施設管理	16人
合計	84人

※単年度配置の施設管理（美装化チーム）22名は除いている。

#### 5. 飼育動物関係

##### (1) 飼育動物種数・点数（平成28年3月現在）

	哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	無脊椎動物	計
種数	59	66	57	16	14	1	213
点数	336	441	202	77	—	1	1,057

#### 6. 教育普及活動

天王寺動物園では、教育普及活動として、一般来園者に対してのものと事前に依頼を受け実施するプログラムがあり、それぞれ年間下記の回数実施しています。

##### 天王寺動物園における教育普及活動（平成26年度）

###### ■一般来園者対象のもの

獣医さんのお話	月1回
飼育係による動物君たちの一日	月1回
ボランティアによる絵本の読み語り	月2回
動物園サマースクール	4日間
動物相談	234件
飼育係によるワンポイントガイド	3,068回
その他の教育普及イベント	192回

###### ■依頼により実施したもの

動物ショート・ガイド	26回
ズー・スクール	95回
動物園ガイドウォーク	49回
職業体験講座	33回
動物園・職場紹介	35回
動物園・職場紹介出張スクール	37回

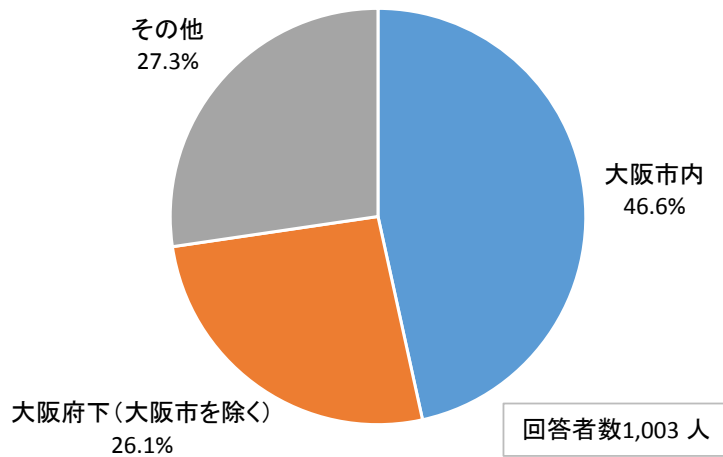
7. 来園者データ

7-1 国内来園者

当園では、アンケート台を園内に据え置いて任意での記入により来園者アンケートを実施しています。本項で紹介するデータは、平成27年4月から9月までの来園者アンケートを集計したものです。なお、アンケート様式が日本語のみのため、外国人からの回答はほとんど含まれていないものと考えられます。

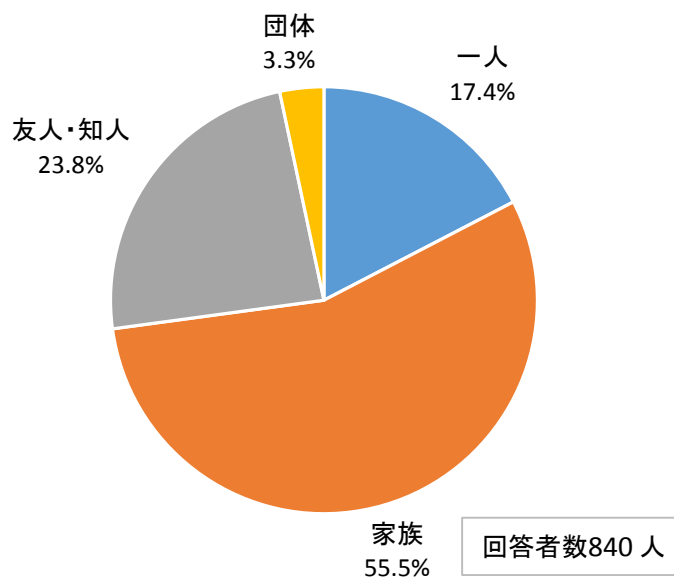
<お住まいの地域>

居住地は、「大阪市内」が46.6%で最も多く、次いで「その他」が27.3%、「大阪府下（大阪市を除く）」が26.1%でした。「その他」では、兵庫県、奈良県、東京都、京都府、滋賀県と、大阪近郊の府県と東京都が多くなっています。



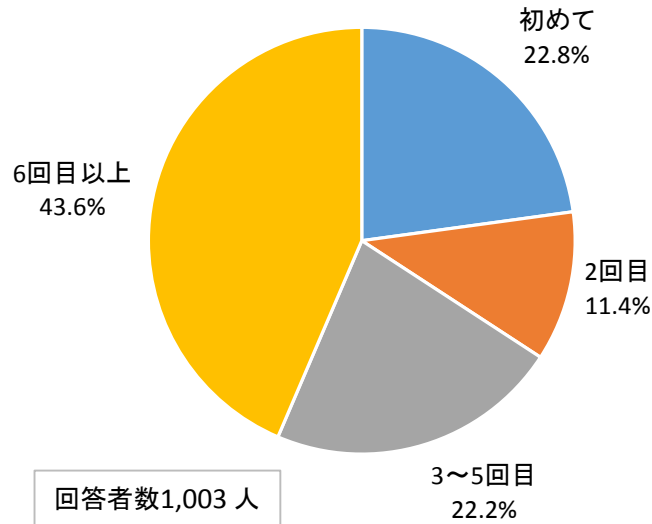
<ご来園構成は（ご来園の人数）>

来園の構成は、「家族」が55.5%で最も多く、次いで「知人・友人」が23.8%、「一人」が17.4%でした。



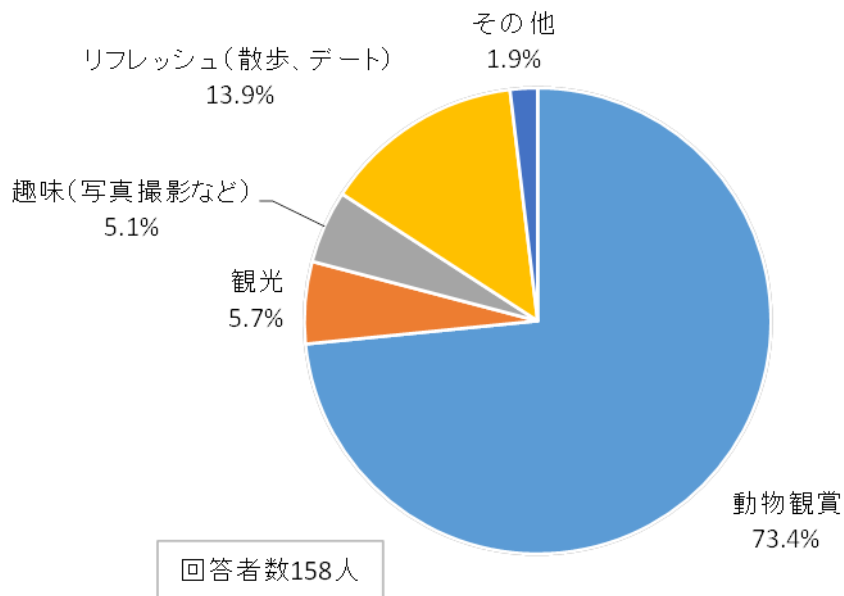
<お越しになられたのは>

来園回数は、「6回目以上」が43.6%で最も多く、次いで「初めて」が22.8%、「3～5回目」が22.2%でした。2回目以上の方が約4分の3以上を占めています。



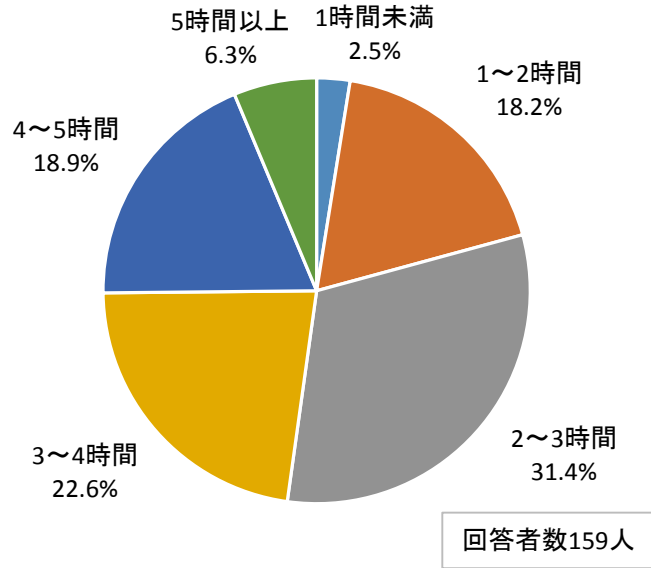
<来園の目的は>

来園の目的は、「動物観賞」が73.4%で最も多く、次いで「リフレッシュ（散歩、デート）」が13.9%、「観光」が5.7%でした。



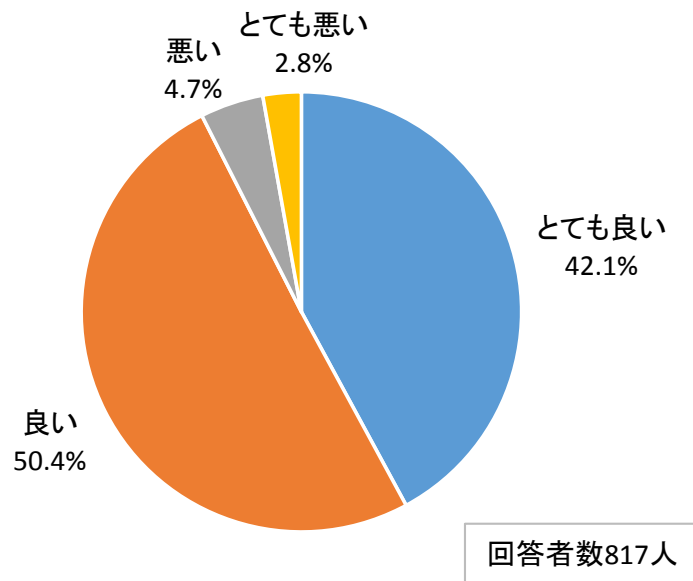
<園内におられた時間>

園内での滞在時間は、「2～3時間」が31.4%で最も多く、次いで「3～4時間」が22.6%、「4～5時間」が18.9%でした。



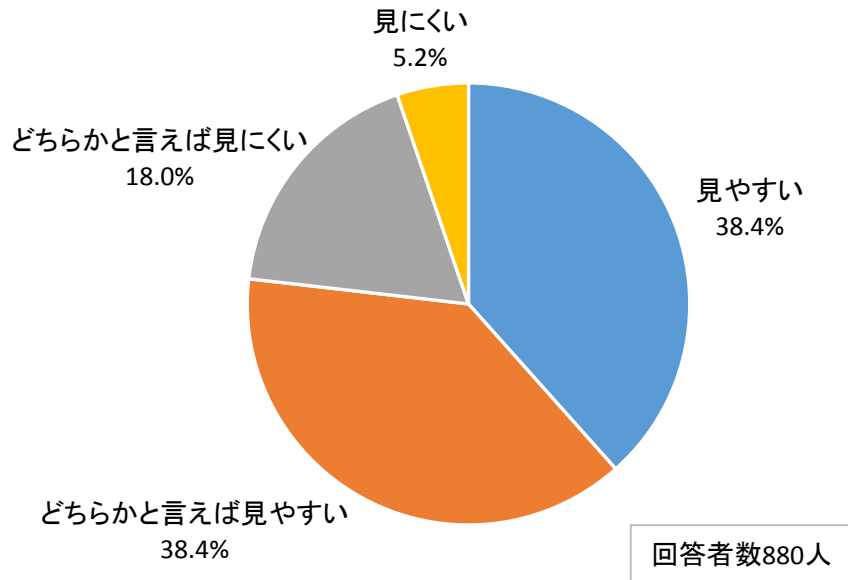
<現在、天王寺動物園では知識・思い出・体験を少しでもお持ち帰りいただけるよう心がけています。職員の対応や雰囲気はどうでしたか>

職員の対応や雰囲気は、「良い」が50.4%で最も多く、次いで「とても良い」が42.1%、「悪い」が4.7%でした。



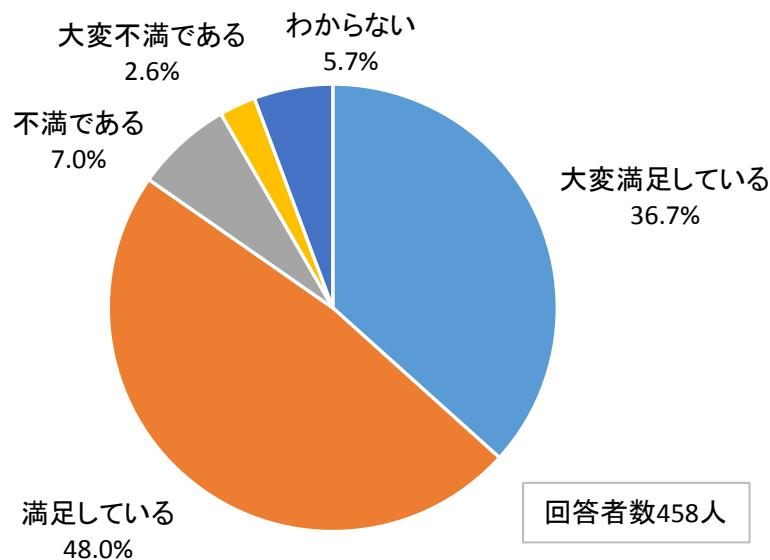
<展示動物の見やすさはいかがでしたか>

展示動物の見やすさは、「見やすい」と「どちらかと言えば見やすい」が 38.4%で最も多く、次いで「どちらかと言えば見にくい」が 18.0%、「見にくい」が 5.2%でした。



<天王寺動物園に対する総合的な満足度をお聞かせください。>

動物園の総合的な満足度は、「満足している」が 48.0%で最も多く、次いで「大変満足している」が 36.7%、「不満である」が 7.0%でした。



<園内の良かった点、悪かった点など、お気づきになられたことがありましたら、ご記入ください。>

園内の良かった点、悪かった点としてご意見をいただいたのは、「動物の見せ方・設備」が 22.0%で最も多く、次いで「動物の種類・数」が 9.6%、「お土産・売店」が 9.0%でした。



## 7-2 インバウンド

## (1) 外国人観光客入園者数（推計）

ゲートで入園者を観察した結果、大阪周遊パスを利用している人の大半が外国人でした。この結果を踏まえ、周遊パス利用者の数を外国人入園者の動向の代理指標として扱うこととしました。さらに、ゲートでの観察結果を踏まえ、周遊パスを利用せずに入園した人も含めた外国人入園者総数を周遊パス利用者の1.4倍と推定しました。

推計の結果、平成27年度外国人来園者数は前年度より、ほぼ倍増しているとみられ、入園者全体の7%に達していると考えられます。

	大阪周遊パス利用 入園者数(a)	外国人入園者数 推計(a×1.4)	動物園入園者 総数	外国人入園者 比率
平成26年度	45,343人	63,480人	1,363,988人	4.7%
平成27年度	86,879人	121,630人	1,730,606人	7.0%

## (2) アンケート調査

外国人入園者へのアンケートを関西外国語大学の協力を得て、下記の日程で実施しました。

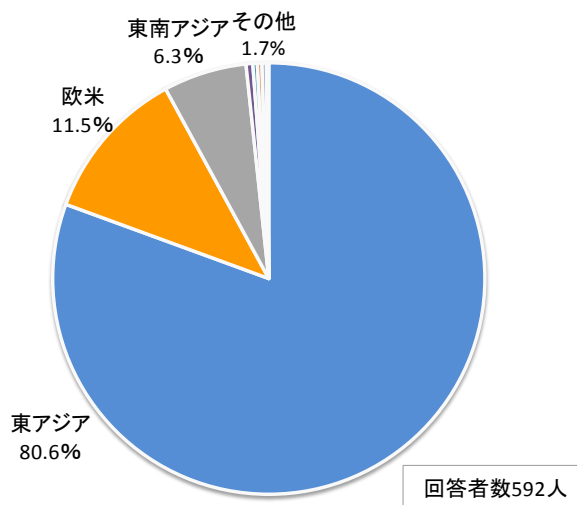
【アンケート調査実施日】平成27年6月28日、30日、7月4日、5日  
11月28日、12月5日、6日

【調査方法】動物園出口ゲート付近での聞き取り調査

【出典】関西外国語大学PBL(Project Based Learning；課題解決型授業)  
平成27年度最終報告会資料

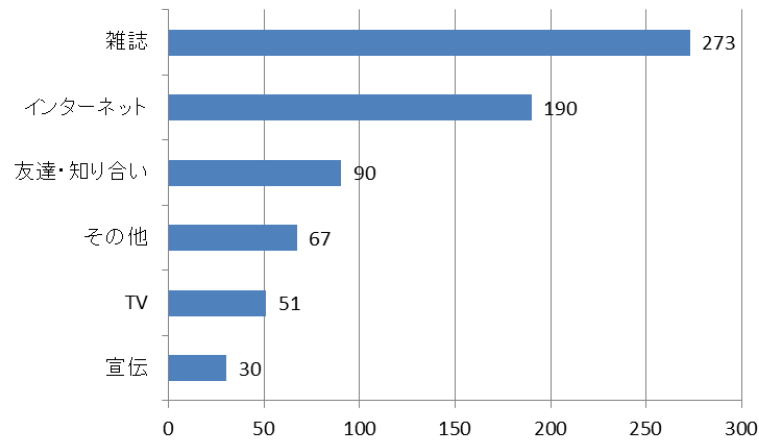
## ≪国籍≫

香港、韓国、台湾、中国など東アジア地域からの入園者が全体の80%を占めています。東南アジアも含めれば、アジアからの入園者が約88%を占めています。



## ≪動物園の情報≫

来園のきっかけとなる動物園に関する情報の入手先としては、雑誌等 273 人、インターネット 190 人、友達・知り合い 90 人の順に多いという結果でした。(複数回答あり)



## 8. 経営形態

平成 27 年度における公立動物園の入園者数上位 15 園の経営形態は以下のとおりです。なお、指定管理者制度を導入した園では、管理者として当該自治体が所管する公益財団法人を指定している例が多いです。なお、国内の全ての公立動物園において、地方独立行政法人の制度を採用している施設は現在のところ存在しません。

施設名称	経営形態	管理者
恩賜上野動物園	指定管理者	(公財) 東京動物園協会
東山動物園	直営	名古屋市
天王寺動物園	直営	大阪市
旭山動物園	直営	旭川市
王子動物園	直営	神戸市
よこはま動物園	指定管理者	(公財) 横浜市緑の協会
京都市動物園	直営	京都市
野毛山動物園	指定管理者	(公財) 横浜市緑の協会
多摩動物公園	指定管理者	(公財) 東京動物園協会
円山動物園	直営	札幌市
福岡市動物園	直営	福岡市
井の頭自然文化園	指定管理者	(公財) 東京動物園協会
豊橋総合動植物公園	直営 (一部指定管理者)	豊橋市 (公財) 豊橋みどりの協会
姫路市立動物園	直営	姫路市
熊本市動植物園	直営	熊本市

## 参考 2 用語解説

	用語	解説	該当ページ
あ	ICT (アイシーティー)	IT の概念をさらに一歩進め、IT=情報技術に通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉。 Information and Communication Technology の略。	4-8
あ	ISIS (アイエスアイエス)	国際種情報システム機構 International Species Information System の略。 世界各国の動物園水族館が加盟しており、飼育動物の個体情報を集積するためのデータベースを管理運営している。	5-3, 9-16
あ	アカデミー	学芸に関する教育・研究機関の称。	3-4
あ	アクティブ・ラーニング	教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれる。また、それを鍛えるディスカッションやディベートといった双方向の講義、演習、実験、実習や実技等を中心とした授業。	5-9
い	ESD (イエステディー)	持続可能な社会づくりの担い手を育成するための教育のこと。 Education for Sustainable Development の略。	5-7
い	異常行動	自然の中で暮らす動物には見られない行動。檻の中や狭い空間に閉じ込められたり、社会性が失われたりした動物にみられることがある。同じところを行き来する、首を左右に振り続けるといった同じ動作を反復して繰り返す行動（常同行動）などがよく知られている。	6-1
い	遺伝的多様性	ある一つの種の中での遺伝子の多様性のこと。計算された計画的な種の管理を進めることで、飼育下個体群の中でより血縁関係の少ない個体の繁殖を推進し、多様性を確保することが重要とされている。	5-4, 5-12 9-15
い	イニシャルコスト	新しく事業を始めたり、新しく機械や設備などを導入したり、新しく建築物を建築したりするときなどに、稼働するまでの間に必要となる費用のこと。初期費用。	6-2
い	インバウンド	外国人が訪れてくる旅行のこと。	4-14, 7-1 9-11
え	エコ・フレンドリー	「環境に優しい」の意。	6-14

	用語	解説	該当ページ
え	SNS (エスエヌエス)	インターネット上の交流を通して社会的ネットワークを構築するサービスのこと。Social Networking Service の略。	4-7
え	ESCO (エスコ) 事業	事業者が顧客の光熱水費等の経費削減を行い、削減実績から対価を得るビジネス形態のこと。Energy Service Company 事業の略。	7-2, 9-4
え	NPO (エヌピーオー)	民間非営利団体。社会的な問題に、非営利で取り組む民間団体。Non-Profit Organization の略。	4-4, 4-6 4-15, 9-15
え	エポック	新しく画期的な時代、のこと。	6-1
お	大阪周遊パス	観光施設の入場と大阪市内の電車・バスの乗り放題がセットになった、電子カード式の観光乗車券。天王寺動物園での利用も可能。	9-11
お	OJT (オージェイティー)	職場で実務をさせながら行うトレーニングのこと。On-The-Job Training の略。	4-12
お	小沢圭次郎	元桑名藩（現在の三重県）士で、造園家、作庭家。近代初の造園研究家で、日本造園史の研究に多くの功績を遺した。天保13年生－昭和7年91歳で没。	6-20
か	ガイドウォーク	天王寺動物園で実施している教育普及プログラム的一种。動物園の職員が園内を一緒に歩きながら、動物についての解説を行ったり、動物園の見どころを紹介する。	5-1, 5-8 5-9
か	環境エンリッチメント	動物福祉の立場から、飼育動物の幸福な暮らしを実現するための具体的な方策のこと。エンリッチメント (enrichment) = 充実。	4-3, 4-4 5-5, 6-18 6-19, 6-21
き	企業メセナ活動	企業が、社会貢献の一環として行う芸術文化支援活動のこと。メセナ (mécénat) = フランス語で「芸術文化支援」を指す。	4-18
き	QOL (キューオーエル)	生活の質のことを指す。ある動物がどれだけその種らしく生態に基づいた生活を送り、幸福に感じているかを尺度としてとらえる概念。Quality of Life の略。	5-5, 6-1 6-14, 6-21
く	クラウドファンディング	不特定多数の人がインターネット上などで、他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うことを指す。群衆 (crowd) と資金調達 (funding) を組み合わせた造語。	4-17, 7-5
け	齧歯類 (げっしるい)	哺乳綱齧歯目 (ネズミ目) に属する動物の総称。物をかじるのに適した歯と顎を特徴とし、多くは草食性であるが、雑食性のももある。	6-22
け	検疫	動物の病気の侵入や拡散を防ぐために、対象動物を一定期間隔離し、状態確認や検査等を行うこと。	5-4, 6-30

	用語	解説	該当ページ
け	現業管理体制	現業職場の日常的な職場運営や作業計画を行う現業職の管理を行うリーダーを頂点とした体制。	7-5
け	検体バンク	将来の人工繁殖や調査研究に備えて、多種多様な動物の各種組織や細胞を保存管理し、必要に応じて利用できるようにしておく取り組み、および保存されている検体全体のことを指す。	5-10
こ	公費負担率	動物園の運営に対して必要な経費のうち、入園料収入をはじめとする収入で賄い切れていない、税等によって補填されている割合のこと。 公費負担率(%) = (経常経費 - 収入) / 経常経費 × 100 ※収入 = 入園料収入 + 入園料外収入	7-1, 7-3, 9-5
こ	個体群管理 (飼育下個体群管理)	複数の施設で飼育されている同種の動物のすべての個体を、一つの群れとして捉えて管理すること。個々の施設が飼育できる種ごとの個体数は限られており、性比や年齢に偏りが生じることも多い。そのため、多くの種においてそれぞれの施設が単独で長期的に維持していくことは困難である。よって、複数施設の個体を一群と捉えることでより多くの個体を対象として、個体数の動態や遺伝的多様性に配慮しつつ計画的に個体の施設間移動やペア形成を行うことが求められている。	5-4
こ	コレクション計画	飼育動物の収集・管理計画のこと。天王寺動物園では、新たな計画を平成 27 年 3 月に策定した。	4-2, 4-3 5-1, 5-4 6-6, 6-23 6-30
こ	コロニー	植民地のこと。派生的に、一地域に定着した生物集団のことを指す。一地域に集まって暮らしている同種動物の集団を指すことが多い。	6-37
こ	コンテンツ	中身、内容、容量、項目、意味のこと。	4-2, 4-5 4-6, 4-7 4-10, 5-3
こ	コンポスト	動物のフンなどの有機物を微生物や菌などの作用により発酵させ、植物の成長に利用できるようにした堆肥のこと。	6-9
し	CS (シーエス)	顧客満足のこと。Customer Satisfaction の略。	4-12, 6-32
し	指定管理者制度	地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO 法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることができる制度である。	9-12

	用語	解説	該当ページ
し	市民サポーター制度	5,000円を支払いいただいた方に、10回分の入園が可能なスタンプカードを提供。実質的には、寄付というよりも実態として回数券として機能している。また、特典として、サポーターズデイを設け、バックヤードツアー等を実施している。また、10回分利用した方には景品を提供している。	4-17
し	ZIMS (ジムズ)	動物情報管理システム I S I Sによって運用されているシステムで、動物園水族館で飼育されている動物の個体情報データベース。Zoological Information Management System	5-3
し	JAZA (ジャザ)	公益社団法人日本動物園水族館協会 (Japanese Association of Zoos and Aquariums)。日本国内の151の動物園・水族館で構成されている法人。「種の保存」「教育・環境教育」「調査・研究」「レクリエーション」の4つを目的として活動している。	5-4, 5-6
し	出張講話	天王寺動物園で実施している教育普及プログラム的一种。希望の会場に職員が出向き、動物に関する講話を行う。大阪市内に限る。	4-5, 5-1 5-9
し	種の保存	生物の種の絶滅を防ぐこと。特に、捕獲・採取・輸出入の制限や人工繁殖などの活動を通じて、積極的に種の存続を図ること。	3-1, 3-3 5-12, 6-3
し	ショートガイド	天王寺動物園で実施している教育普及プログラム的一种。飼育係が動物舎の前で、動物の特徴や餌などの説明を行う。	5-1, 5-8 5-9
す	ZOO21計画	老朽化施設の計画的な更新を目指し、平成7年に策定された天王寺動物園のマスタープラン。主に施設整備計画として取り扱われ、様々な生態系を再現した生態的展示を基本とした。	1-1, 4-2 6-1, 6-2 7-4
す	ズーフレンズ会議	天王寺動物園開園100周年を記念して設立された、未来の天王寺動物園について、共に考え、行動するための動物園の「トモダチ」コミュニティ。天王寺動物園と、一般市民・企業との懸け橋となる存在として、世代を超えて、市民目線で動物園を活性化していくためのボランティア組織。	3-4
す	スーベニアショップ	お土産物店。	6-9, 6-31 6-32, 6-38
す	スポンサード	「資金提供を受ける」の意。	4-6, 4-18
そ	ゾーニング	施設全体の設計手法。類似した性格や使用目的の建築物・空間などをまとめ、「ゾーン」をつくること。	4-9, 6-8 6-10
せ	生態的展示	地形や植栽などで景観を作り込むことにより、動物が野生で生息している環境をできる限り再現し、動物と生息環境とのつながりに対する理解を促すとともに、動物の生態により即した飼育環境の提供を目指す展示手法のこと。	1-1, 2-1 4-3, 6-1 6-2, 6-3 6-5, 9-17

	用語	解説	該当ページ
せ	生息域内保全	生物を自然の生息環境において保全すること。	5-6, 5-12
せ	生息域外保全	生物を自然の生息環境外において人間の管理下で保全すること。	5-6, 5-12
て	てんしば	平成 27 年 10 月にリニューアルオープンした天王寺公園エントランスエリアの愛称。	4-8, 4-10 4-13, 6-6 6-14, 6-17, 6-31, 6-37 6-38, 9-1
と	動物園改造9ヵ年計画	昭和 35 年から 44 年にかけてそれまでの檻式の動物舎を無柵放養式に改造していった獣舎整備計画。現在でもクマ舎、ムフロン舎（旧バーバリシープ舎）などが残存している。	1-1
と	動物倫理規定	動物福祉の考え方に基づく、動物の管理や取扱いにおいて遵守し実行すべき行動規範	5-5
と	トータルコスト	建物の建設（計画・設計）から使用期間、そして解体までにかかる費用を合わせたもの。	6-2
と	地方独立行政法人	日本における法人のうち、地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号）に規定される「住民の生活、地域社会及び地域経済の安定等の公共上の見地からその地域において確実に実施されることが必要な事務及び事業であって、地方公共団体が自ら主体となって直接に実施する必要のないもののうち、民間の主体にゆだねた場合には必ずしも実施されないおそれがあるものと地方公共団体が認めるものを効率的かつ効果的に行わせることを目的として、この法律の定めるところにより地方公共団体が設立する法人」をいう。	9-12
に	ニッチェ（ニッチ）	ある生物が生態系の中で占める位置を意味する生態学用語。生態的地位。	6-8
ね	ネーミングライツ	人間や事物、施設、キャラクターなどに対して命名することができる権利。命名権。	4-18, 7-4
は	ハズバンドリートレーニング	動物の自発的行動を発現させるような飼育手法を用いて、飼育者が望む行動を飼育動物に発現させるためのトレーニング。動物を長期的に健康的に、なおかつ人も安全に飼育することを目的として近年様々な動物種を対象として導入されている。	4-3, 5-5 7-5
は	バックヤード	一般的に、展示物等を保管しておく倉庫などがある施設の裏側、またはそのスペースのことを言う。動物園では、一般来園者が立ち入りできないエリア全体のことを指す場合もある。展示していない動物舎が含まれることもある。	4-6, 5-4 6-2, 6-9 9-16

	用語	解説	該当ページ
は	パドック	補助的に設けられた小さな運動場のこと。	6-29
は	パブリシティ	企業や団体が、マスコミなどに対して積極的に情報公開するなどして、報道されるよう働きかけること。	4-7
は	バリア	障害物のこと。	4-9, 6-37
ひ	P F I (ピーエフアイ)	1990年代に英国において行財政改革を推進する過程で生まれた公共事業の実施手法の一つ。公共施設等の整備等にあって、民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用することにより、効率的で質の高い公共サービスの提供を図るもの。	7-4
ひ	ピクト	絵文字、絵単語のこと。ピクトグラムの略。	4-14, 6-35
ふ	プレゼンス	存在感、影響力のある存在のこと。	5-4
へ	ペDESTリアンデッキ	広場と横断歩道橋の両機能を併せ持ち、建物と接続して建設された、歩行者の通行専用的高架建築物のこと。	6-32
ほ	ホスピタリティ	おもてなしの心を持ち、様々なサービスを提供すること、またはその精神。	3-2, 4-1 4-10, 4-12
む	無柵放養式	檻や柵などを使用せず堀（モート）を用いることで、観覧者と飼育動物の間に視界を遮る構造物が存在しないようにした展示方式。	1-1, 9-17
も	モニタリング	計画の効果や達成度について分析し、評価する一段階のこと。	4-12
ゆ	ユニバーサル	「普遍的な」といった意味から、「すべてのひとのための」の意。	4-9
ら	ランニングコスト	施設などの稼動が始まってから使い続けるために必要となる費用。光熱費や各種消耗品代、メンテナンスにかかる費用、定期的に支払う利用料などが含まれる。	6-2
る	ルーティン化	もともと不定期に行っていたものを一連のものとしてパターン化し、定期的実施していくこと。	4-7
わ	ワークショップ	学びや創造、問題解決やトレーニングの手法。本来は「作業場」や「工房」のことを指すが、現在においては参加者が経験や作業を披露したりディスカッションをしながら、スキルを伸ばしたり、方針や結論を導き出す場のこと。	4-6
わ	WAZA (ワザ)	世界動物園水族館協会 (World Association of Zoos and Aquariums)。1935年に設立された世界の動物園・水族館で構成されている団体。各国の動物園水族館協会や個別の動物園・水族館が加盟している。	5-4